

株式会社ニツカトー 2021年3月期決算説明資料

1. 中長期的な戦略について
2. 2021年3月期業績概要
3. 2022年3月期業績予想
4. 事業トピックス

1. 中長期的な戦略について

2. 2021年3月期業績概要

3. 2022年3月期業績予想

4. 事業トピックス

当社は得意とする特定分野のセラミックス製品
並びに計測機器と加熱装置のリーディングカン
パニーを目指しております。

- ✓ ジルコニアボール並びに構造部材及び圧電体・次世代電池向け熱処理道具材の生産能力の増強
- ✓ 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と各種部材の生産技術の向上による品質、生産効率の改善による合理化の推進
- ✓ マーケットニーズに対応したセラミックス新製品及びエンジニアリング新商品の開発と拡販
- ✓ 働き方改革の実現及び中長期的な労働力の確保並びに人材教育の推進
- ✓ 内部統制システムの構築に基づくガバナンス強化及びリスク管理の強化や内部監査の充実による管理体制の整備

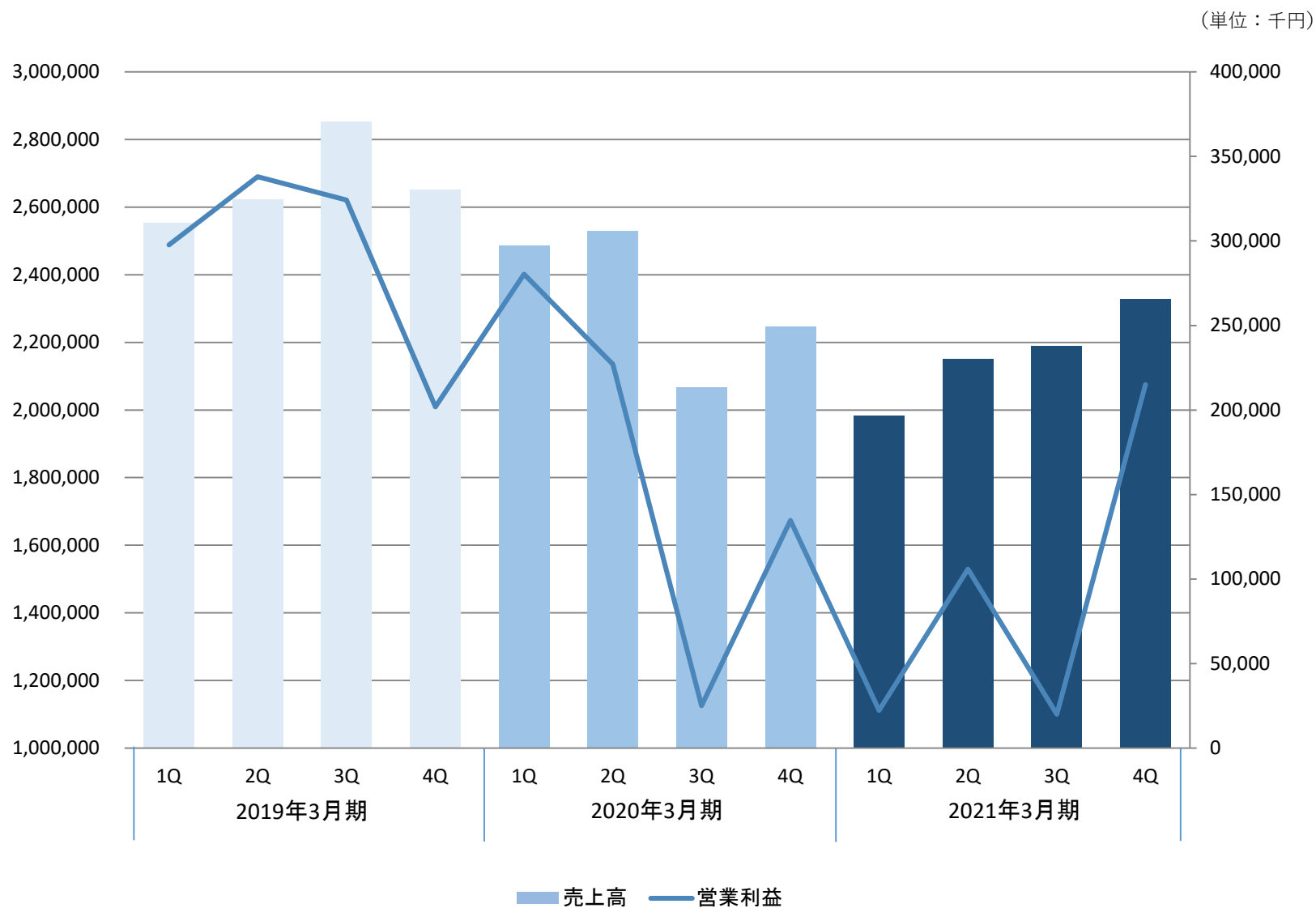
1. 中長期的な戦略について
2. 2021年3月期業績概要
3. 2022年3月期業績予想
4. 事業トピックス

経営成績の概要

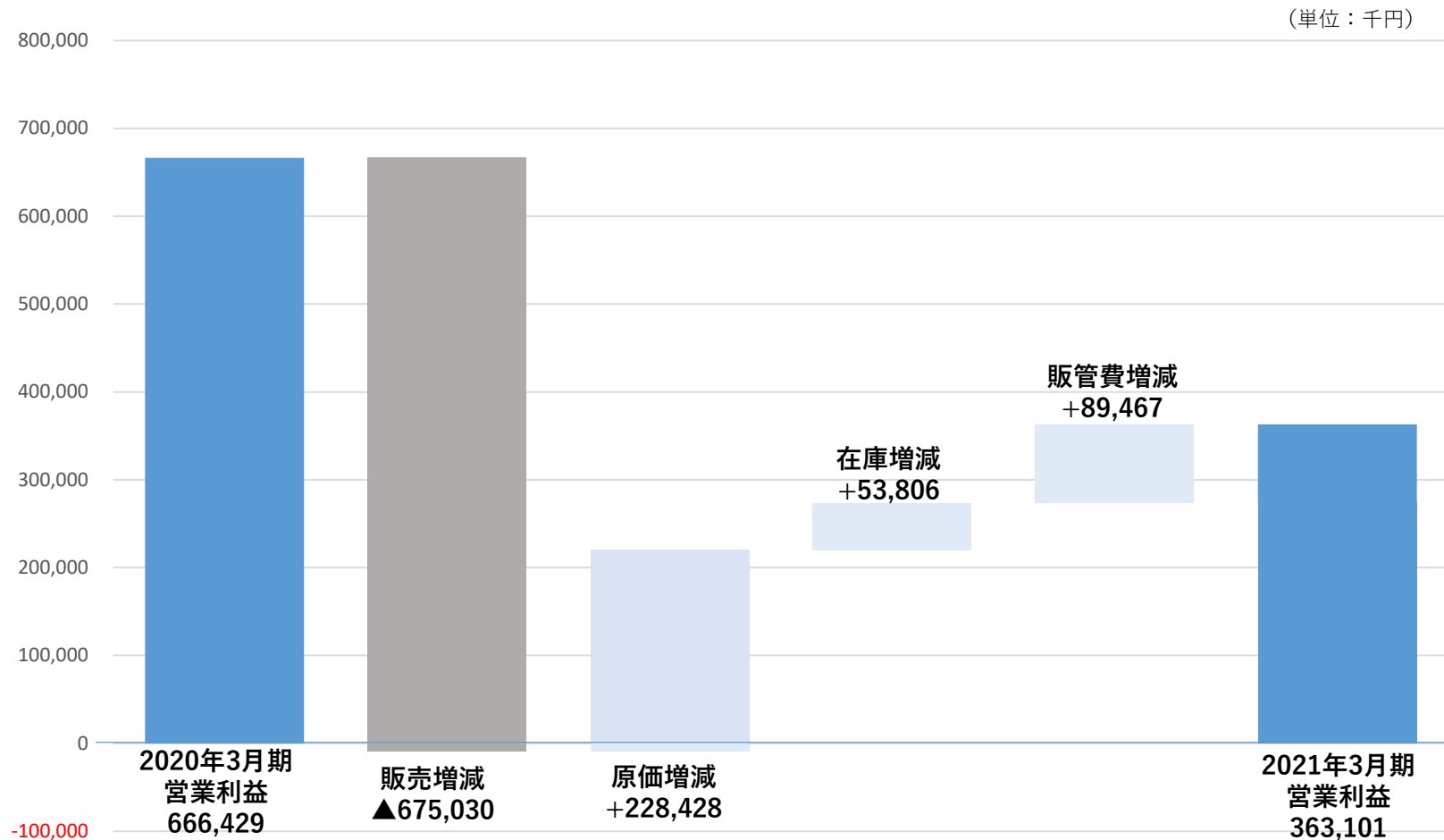
(単位：千円)	2020年3月期		2021年3月期		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	9,329,618		8,654,588		-675,030	-7.2%	8,500,000	101.8%
売上原価	7,303,895	78.3%	7,021,660	81.1%	-282,235	-3.9%	7,050,000	99.6%
販売費及び一般管理費	1,359,294	14.6%	1,269,826	14.7%	-89,467	-6.6%	1,250,000	101.6%
営業利益	666,429	7.1%	363,101	4.2%	-303,328	-45.5%	200,000	181.6%
経常利益	752,367	8.1%	439,799	5.1%	-312,567	-41.5%	270,000	162.9%
当期純利益	441,068	4.7%	274,575	3.2%	-166,493	-37.7%	170,000	161.5%
研究開発費	219,477	2.4%	216,068	2.5%	-3,408	-1.6%	-	-
EPS(円)	36.95	-	23.00	-	-13.95	-	-	-
ROA (%)	2.9	-	1.8	-	-1.1	-	-	-
ROE (%)	4.1	-	2.5	-	-1.6	-	-	-

※2021年3月期通期予想を修正いたしております。詳しくは2021年2月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

売上高・営業利益推移(四半期毎)



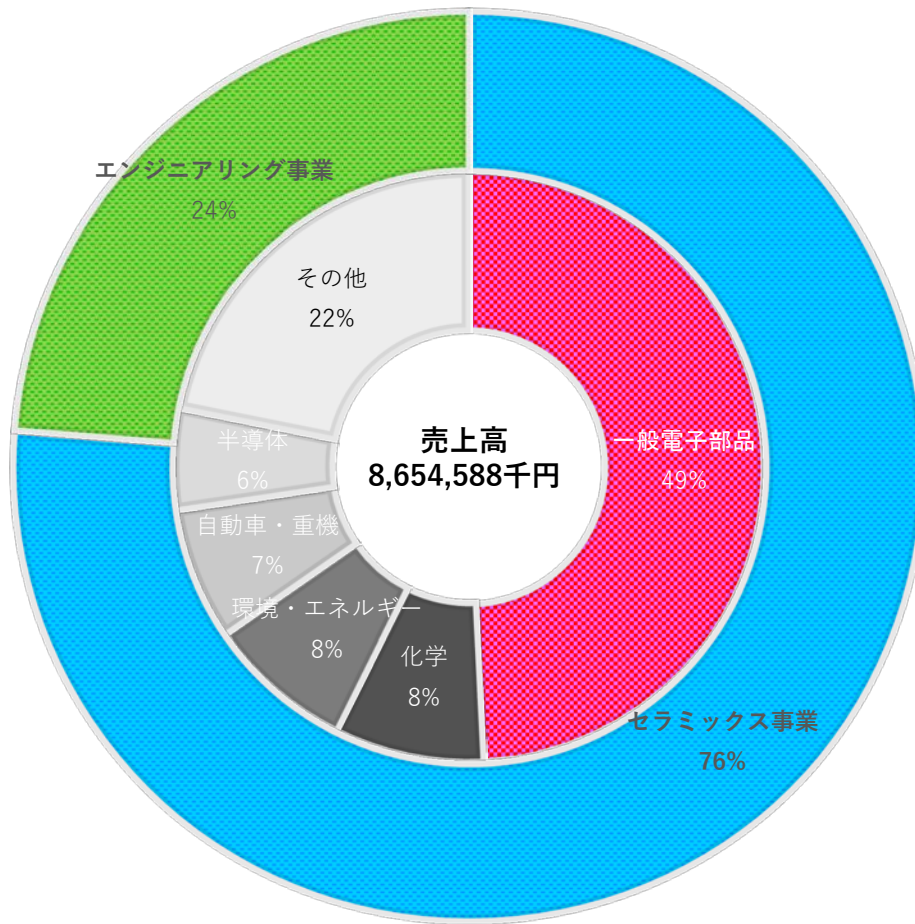
営業利益増減要因



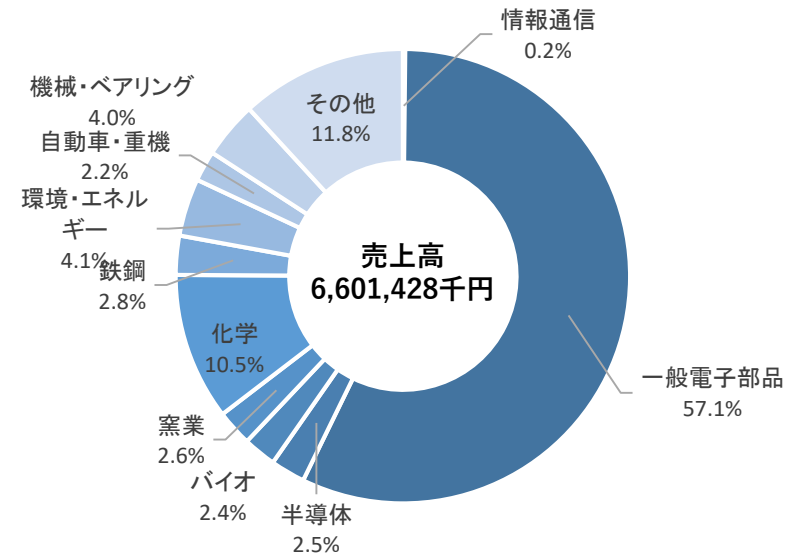
- ✓ 新型コロナウイルス感染症に伴う事業活動の制約による減収の影響が大きく、原価低減及び経費削減に取り組むも、新棟竣工に伴う減価償却費等固定費増加要因を吸収しきれず、前年同期比45.5%減益となる。

マーケット別構成比

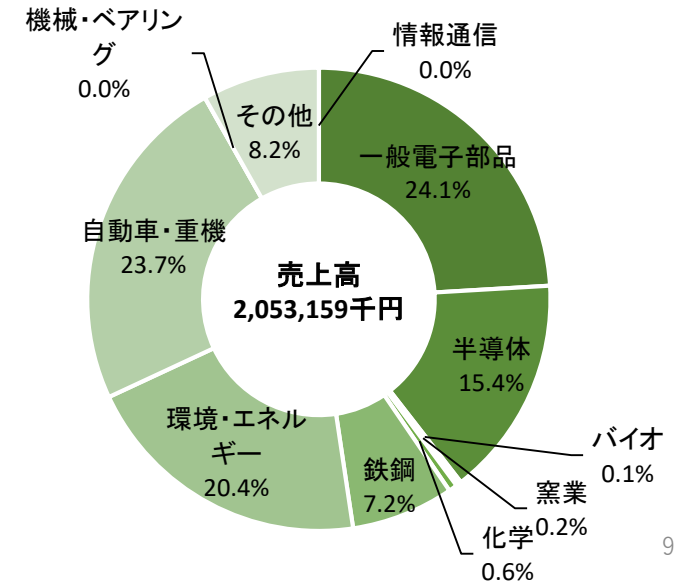
全社



セラミックス事業

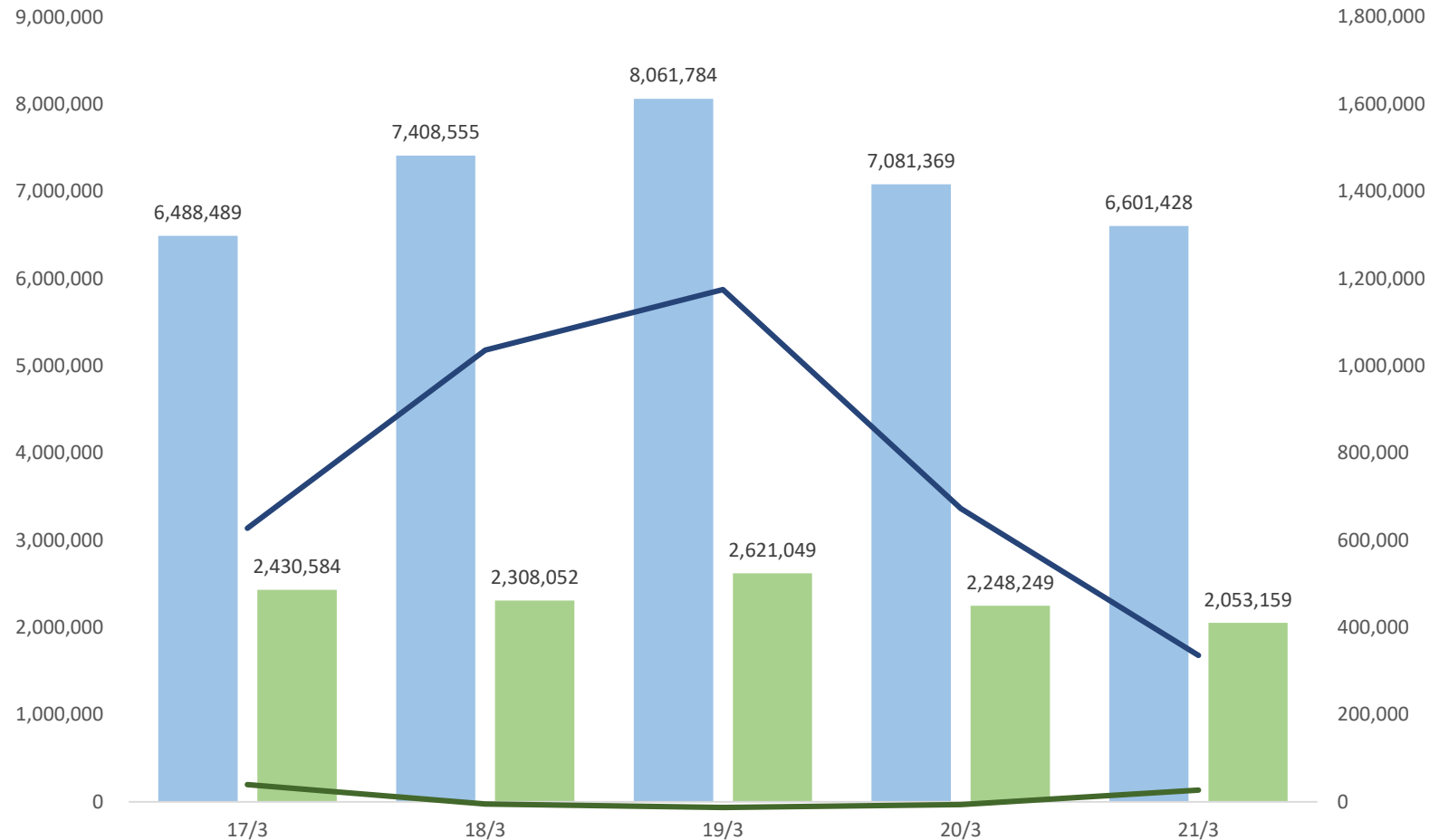


エンジニアリング事業



セグメント別業績推移

(単位：千円)

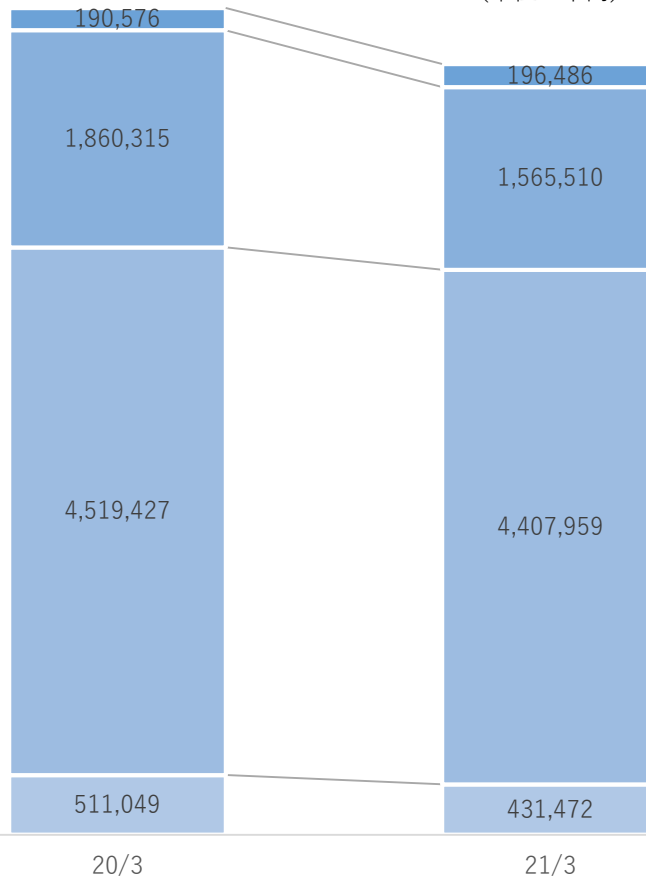


(1,000,000)

(200,000)

■ セラミックス事業売上高 ■ エンジニアリング事業売上高 ■ セラミックス事業営業利益 ■ エンジニアリング事業営業利益

(単位：千円)



- 機能性セラミックス
- 耐摩耗セラミックス
- 耐熱セラミックス
- 理化学用陶磁器他

- ・新型コロナウイルスの影響で営業・生産活動に制約を受ける。下期以降経済活動は徐々に回復傾向にあったが、第4波の影響により不透明感が強まる。
- ・YTZボール新棟は、10月竣工済み。テスト生産実施中。
- ・従業員の健康・安全に配慮しながらも工場稼働率・生産効率改善に注力。



- ・セラミックス事業同様に新型コロナウイルスの影響により営業活動に制約。
- ・北関東営業所閉所及び組織体制の刷新により固定費削減には一定の効果が見られる。更なる効率化・利益率の改善に注力。
- ・計測機器は苦戦するも加熱装置はセグメント黒字化に貢献する。

貸借対照表

(単位：千円)	20/3末	21/3末	増減率
流動資産	8,338,649	8,424,258	1.0%
現金預金	2,410,596	2,676,471	11.0%
売掛債権	3,079,940	2,955,751	△ 4.0%
棚卸資産	2,765,545	2,757,273	△ 0.3%
その他	82,567	34,762	△ 57.9%
固定資産	6,882,191	7,505,943	9.1%
有形固定資産	5,032,631	5,246,133	4.2%
無形固定資産	146,842	151,902	3.4%
投資その他	1,702,717	2,107,907	23.8%
資産合計	15,220,841	15,930,202	4.7%

- ・ 流動資産
 - 現金預金 売上債権の回収により増加
- ・ 固定資産
 - 有形固定資産 新棟及び関連設備の取得により増加
 - 投資その他 株価上昇による評価増により増加

	20/3末	21/3末	増減率
流動負債	2,888,260	3,108,682	7.6%
買掛債務	1,385,790	1,418,076	2.3%
短期借入金	620,892	648,392	4.4%
その他	881,577	1,042,214	18.2%
固定負債	1,467,415	1,391,553	△ 5.2%
長期借入金	1,178,412	1,004,520	△ 14.8%
その他	289,003	387,033	33.9%
純資産	10,865,165	11,429,965	5.2%
株主資本	10,634,770	10,742,159	1.0%
評価・差額等	230,394	687,806	198.5%
負債・純資産合計	15,220,841	15,930,202	4.7%

- ・ 流動負債
 - その他 未払消費税等・未払法人税等の増加により増加
- ・ 固定負債
 - 長期借入金 長期借入金の返済により減少
- ・ 純資産
 - 評価・差額等 株価上昇による評価・差額等の増加により増加

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)	20/3末	21/3末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	776,232	1,354,827	578,595
税引前当期純利益	645,764	437,003	△ 208,761
減価償却費	648,800	720,614	71,814
棚卸資産の増減額	△ 140,106	8,272	148,378
その他	△ 378,226	188,937	567,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,071,626	△ 773,570	1,298,056
有形固定資産の取得	△ 2,028,159	△ 899,710	1,128,449
その他	△ 43,466	126,139	169,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,078,753	△ 315,381	△ 1,394,135
配当金の支払額	△ 262,345	△ 167,401	94,943
その他	1,341,099	△ 147,979	△ 1,489,079
現金等の増減額	△ 216,640	265,875	482,516
現金等の期末残高	2,410,596	2,676,471	265,875

- ・ 営業 C F
 - 税引前当期純利益
減収による影響で大幅減益
 - 減価償却費
新棟竣工及び関連設備取得により増加
 - 棚卸資産の増減額
経済活動の改善により減少
 - その他
雇用調整助成金等により増加
- ・ 投資 C F
 - 有形固定資産の取得
セラミックス事業新規及び更新設備投資
 - その他
投資有価証券の償還
- ・ 財務 C F
 - 配当金の支払額
配当金 14円

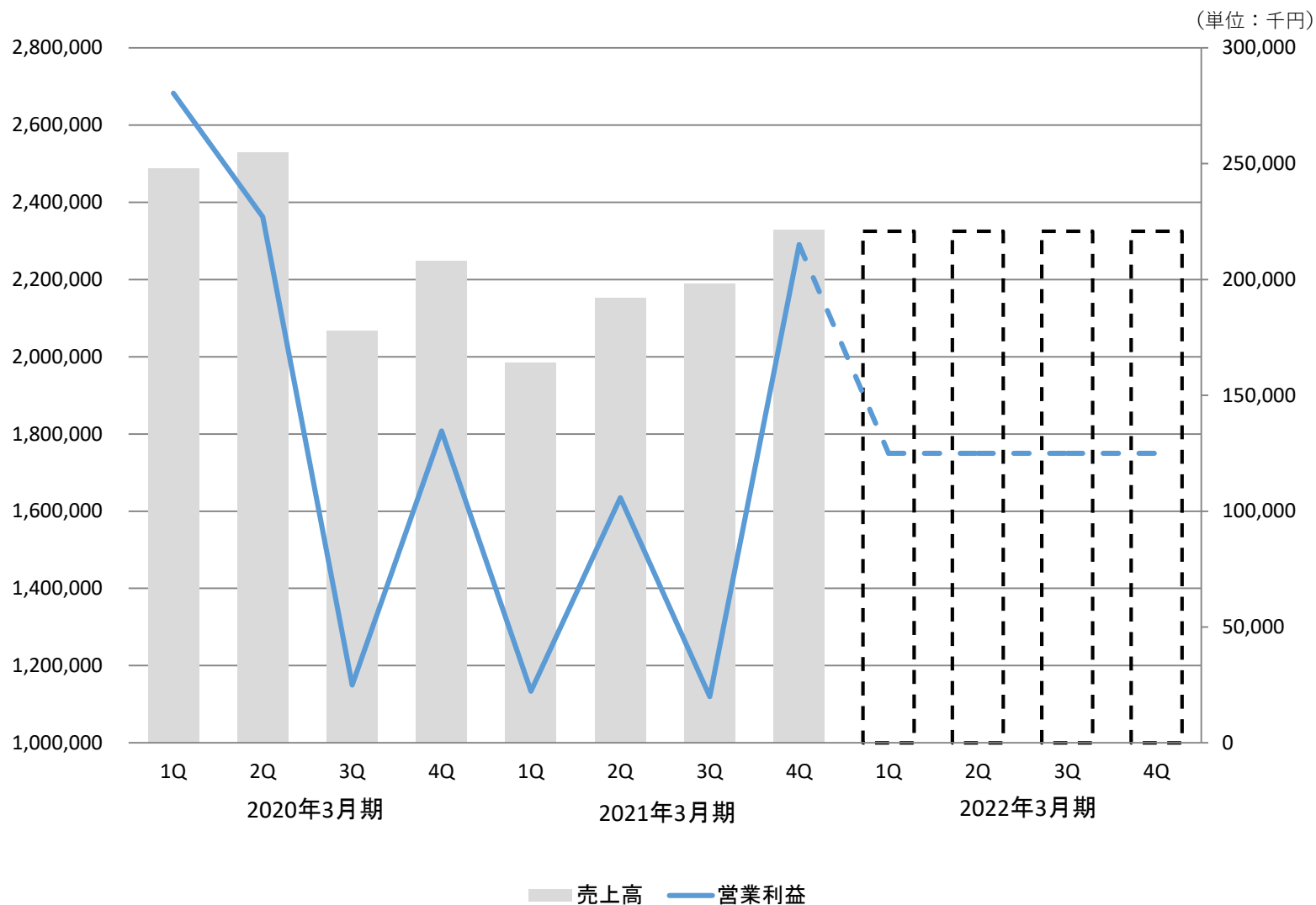
1. 中長期的な戦略について
2. 2021年3月期業績概要
- 3. 2022年3月期業績予想**
4. 事業トピックス

2022年3月期業績予想(1)

(単位：千円)	2021年3月期(予想)		2021年3月期(実績)		対予測比	2022年3月(予想)	
	実額	売上比	実額	売上比	増減率	金額	売上比
売上高	8,500,000		8,654,588		1.8%	9,300,000	
売上原価	7,050,000	82.9%	7,021,660	81.1%	-0.4%	7,500,000	80.6%
販売費及び一般管理費	1,250,000	14.7%	1,269,826	14.7%	1.6%	1,300,000	14.0%
営業利益	200,000	2.4%	363,101	4.2%	81.6%	500,000	5.4%
経常利益	270,000	3.2%	439,799	5.1%	62.9%	520,000	5.6%
当期純利益	170,000	2.0%	274,575	3.2%	61.5%	330,000	3.5%

※2021年3月期通期予想を修正いたしております。詳しくは2021年2月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2022年3月期業績予想(2)

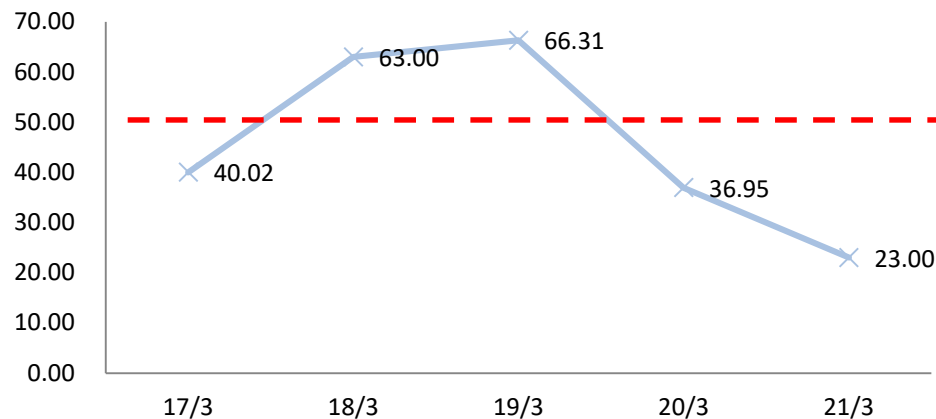


- ✓ ROE(自己資本当期純利益率)
→8%以上
- ✓ EPS(1株当たり当期純利益)
→50円以上
- ✓ 配当性向
→30%~50%

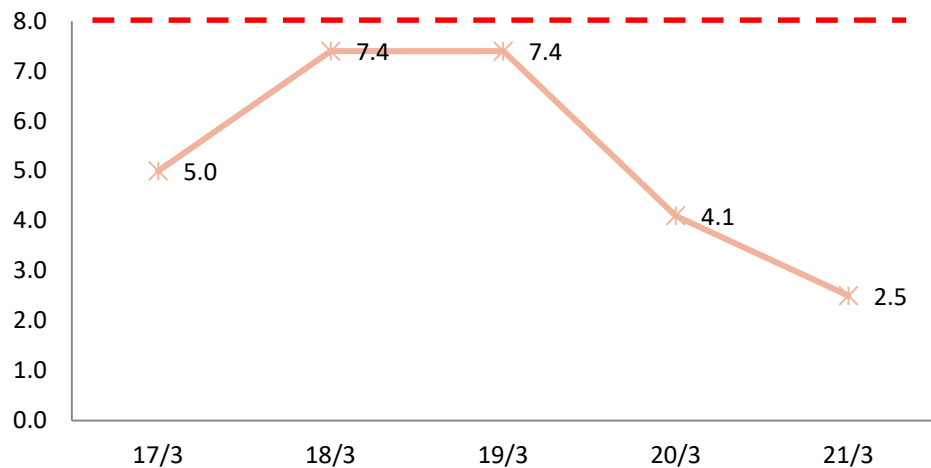
目標とする経営指標(2)

(過年度実績)

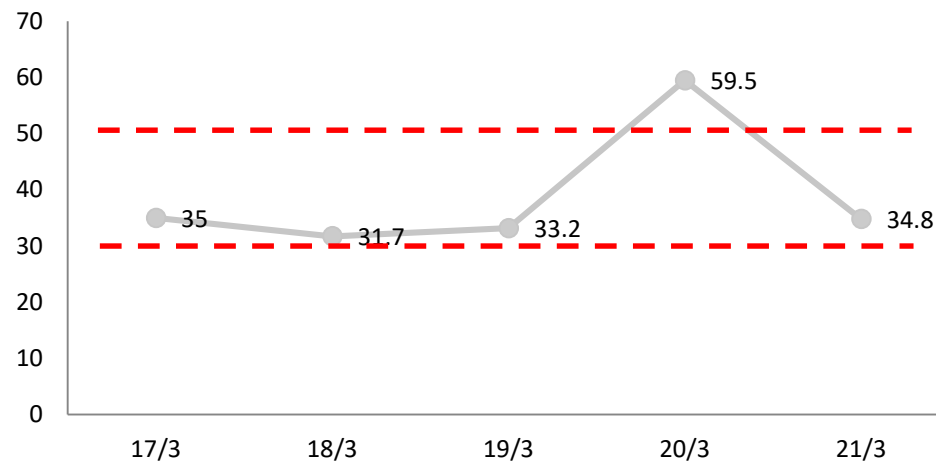
EPS(円)



ROE(%)



配当性向 (%)



1. 中長期的な戦略について
2. 2021年3月期業績概要
3. 2022年3月期業績予想
4. 事業トピックス

【 YTZ®ボール新建屋完成】

このたび、当社の主力製品でありますYZZ®ボールの新生産建屋が東山工場内に完成致しました。

YZZ®ボールは、これまでも品質に対する高い信頼性でご好評を頂いておりましたが、従来からの電子部品やインク・顔料などの分野に加え、2030年SDGsの達成と2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略においても、今後ますますの需要拡大が見込まれます。



新建屋では、今後の更なる需要拡大に備えるべく、生産能力の増強及び合理化・効率化を推し進めてまいります。

我々はこれからも、環境に配慮した信頼される製品の提供を通じて、社会に貢献してまいります。

(注) 本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。